

災害拠点病院の充実度評価を行う場合の評価項目（案）

- ・ I～IVは、災害拠点病院に求められる機能の大分類を示している。
- ・ 1.～6.、①～④は、中分類、小分類を示し、評価の視点を表している。
- ・ ●で示したものが、具体的な評価方法である。
- ・ ✓は、評価を行う場合の裏付けの確認の方法を示している。

I. 病院機能の維持、業務継続の体制

1. 業務継続計画の整備の状況

- 計画を作成し職員に周知しているか？
 - ✓ 計画書の確認
- 業務継続計画の見直し、改訂を行っているか？
 - ✓ 改訂履歴を確認できる資料
- 入院患者の全避難搬送についての計画を定めているか？
 - ✓ 計画書の確認

2. ライフライン等の維持体制の状況

- ① 水の確保（確保日数、井戸などの代替の状況、非常用の切り替え訓練の実施状況、優先確保協定の状況など）
- 次のア～イのいずれかで3日分の水を確保できるか？
 - (ア) 3日分の容量の受水槽を保有しているか？
 - ✓ 受水槽の確認
 - (イ) 停電時にも使用可能な地下水利用のための設備（井戸設備を含む。）がある？
 - ✓ 設備の確認
 - (ウ) 優先的な給水協定の締結等により必要な水を確保できるか？
 - ✓ 協定書の確認
- ② 電源の確保（自家発電設備の確保状況（確保日数、機器の設置場所のリスク評価、非常用の切り替え訓練の実施状況、優先確保協定の状況など）
- 通常時の6割程度の発電容量のある自家発電機等を保有し、そのための3日分程度の備蓄燃料を確保しているか？
 - ✓ 自家発電機等の確認
 - 自家発電機等の設備がハザードマップの状況に応じて適切な場所に設置されているか？（洪水ハザードマップ該当地域では地下への設置は不適切）
 - ✓ 自家発電機等の場所の確認

- 水と電気の平時の使用量について把握し、不足する場合の優先供給計画を定めているか？
 - ✓ 優先供給計画書の確認

③ 通信（衛星電話・インターネットの機器やシステムの確保状況、使用訓練の実施状況など）

- 衛星電話を保有し、衛星回線インターネットが利用できるか？
 - ✓ 機器の確認
- EMIS の担当者を定め、平時の入力必要項目が入力済みであるか？
 - ✓ EMIS の入力状況の確認
- 定期的に入力訓練を行っているか？
 - ✓ EMIS のログの確認

④ 食料、飲料、医薬品の確保（医療ガスも含む）などの備蓄状況（入院患者、医療スタッフ、受け入れ患者用）

- 食料、飲料水、医薬品等について、3日分備蓄しているか？
 - 少なくとも患者の分
 - スタッフの分も含めて
 - ✓ 実物の確認
 - 3日以上以上の確保について、協定の締結により、災害時に優先的に供給される体制を整えているか？（市町村等で確保される場合はそれでよい）
 - ✓ 協定書等の確認

3. 施設の耐震構造の状況（重点機能の耐震構造の割合など）

- 病院機能を維持するために必要な全ての施設の耐震構造の状況はどうか？
 - 免振構造になっている
 - 耐震構造になっている
 - ✓ 設計状況の確認
- 建物内の医療機器等（電子カルテなども含む）の転倒防止対策が取られているか？
 - ✓ 転倒防止対策状況の確認

4. 自院での訓練（業務継続計画に基づいた訓練など）

- BCP 計画に準じて年一回以上訓練を行っているか？
 - ✓ 訓練に関して使用した資料

II. 災害被害者の受け入れ体制

1. 平時の救命救急センター、第二次救急医療機関としての充実度の状況

- 救命救急センター、第二次救急医療機関に指定されているか？
- 救命救急センターの充実段階評価はどうか？
 - S
 - A
 - B
 - C
- ✓ 厚生労働省の公開情報
- 第二次救急医療機関自己評価項目（厚生労働科学研究）の充実度はどうか？
 - ✓ 自己評価チェックリストの確認

2. 災害で想定される傷病者（多発外傷、挫滅症候群、広範囲熱傷等への平時の受け入れ状況（診療体制、診療実績）

- 多発外傷、挫滅症候群、広範囲熱傷等の災害時に多発する重篤救急患者の救命医療を行うために必要な診療体制があるか？
- 多発外傷、挫滅症候群、広範囲熱傷等の災害時に多発する重篤救急患者の救命医療を行うために必要な診療設備があるか？
- 多発外傷、挫滅症候群、広範囲熱傷等の災害時に多発する重篤救急患者の平時の受け入れ実績はどうか？

3. ヘリコプターなどの航空機搬送への対応（飛行場外離着陸場・非共用ヘリポートの確保状況）

- ヘリコプターの離着陸場を有するか？
 - 平時において、病院と離着陸場間を、車両を用いずに患者を移動できる距離にある
 - それ以外
- ✓ 位置の確認

4. 傷病者の大量収容の体制の状況（外来スペースの拡張機能、簡易ベッドの確保状況など）

- 災害時における患者の多数発生時における患者の収容能力はどの程度か？
 - 入院患者については通常時の2倍、外来患者については通常時の5倍の対応可能なスペース及び簡易ベッド等の備蓄がある。
 - それ以外
- ✓ 位置の確認

5. CBRNE に対する傷病者の受け入れ体制

- 除染設備を有するか？
 - ✓ 現物の確認
- 個人防護具（レベル C 以上）を〇〇着以上有するか？
 - ✓ 現物の確認
- CBRNE に対する傷病者受け入れ訓練を実施しているか？
 - ✓ 訓練に関する資料の確認
- CBRNE に対する当該病院対応マニュアルを有しているか？
 - ✓ マニュアルの確認

III. DMAT などの災害派遣チームの派遣・受援体制

1. DMAT 資格を持つ職員の状況（DMAT 資格別、職種別の割合、数など）

- DMAT の派遣体制はどの程度確保しているか？
 - 2 隊以上を組める人員を常勤で確保している。
 - 1 隊を組める人員を常勤で確保している。
- 統括 DMAT 登録者を有するか？
- DMAT ロジステックチームの有資格者を有するか？
 - ✓ スタッフ名簿の確認

2. DMAT 派遣の際の資機材の整備状況（DMAT 標準資器材リストの準備、点検状況など）※トリアージタグも含む

- DMAT 標準資器材をどの程度整備しているか？
 - 2 組以上を整備している。
 - 1 組を整備している。
 - ✓ 現物の確認
- DMAT 等が携行できる移動式衛星電話を保有するか？
 - 2 組以上を保有している。
 - 1 組を保有している。
 - ✓ 現物の確認

3. DMAT 派遣のための車両等の状況（台数、積載能力など）

- DMAT や医療チームの派遣に必要な緊急車両を有しているか？
 - 2 両以上を有している。
 - 1 両を有している。
 - ✓ 現物の確認
- 派遣のための寝具、発電機、飲料水、食料、生活用品等を保有するか？

- 2 隊以上を整備している。
- 1 隊分を整備している。
- ✓ 現物の確認

4. DMAT 以外の災害派遣チームの状況（CBRNE に対する派遣、新型コロナウイルス等への対応チーム、災害派遣精神医療チームなど）

- DMAT 以外の医療救護班（災害派遣精神医療チームは除く）を派遣する用意があるか？
- CBRNE に対して職員を災害派遣する用意があるか？
- 新型コロナウイルス等に対して職員を災害派遣する用意があるか？
- 災害派遣精神医療チームを災害派遣する用意があるか？

5. DMAT 研修、訓練への参加状況

- DMAT 地方ブロック訓練に計画的に職員を派遣しているか？
- 大規模地震時医療活動訓練に計画的に職員を派遣しているか？
- ✓ 派遣実績の確認

6. DMAT などの災害派遣チームの受け入れ体制（受け入れ場所の確保、受け入れ担当者の選定など）

- 業務継続計画において DMAT の受援計画を定めているか？
- ✓ 計画書の確認
- 受援に入った DMAT の待機場所、通信設備等を確保しているか？
- ✓ 実物の確認

IV. 地域における災害拠点としての体制

1. 地域の医療機関との連携、訓練（救急医療機関（初期、二次、三次救急医療機関）、慢性期医療機関、精神科医療機関、医師会など）

- 地域の救急医療機関地域医師会、日本赤十字社等の医療関係団体とともに定期的な訓練を実施しているか？
- ✓ 訓練に関する資料等の確認
- 地域の精神科医療機関、慢性期医療機関、介護医療施設等と災害対応に関する協議の場をもっているか？
- ✓ 協議の議事録、資料等の確認

2. 地域のライフラインに関する企業等との協定

- 地域のライフラインに関する企業等と災害時の協定を締結しているか？

✓ 協定の確認

3. 国、都道府県、災害関連団体（消防、警察、自衛隊など）との連携、訓練
 - 消防署、地区防災組織、消防団、災害ボランティア団体などの地域防災・災害対応組織と協議をする場をもっているか？

✓ 協議の議事録、資料等の確認

4. 一般市民への災害医療についての啓発活動

● 地域の住民に対して災害医療に関する啓発活動を行っているか？

✓ 啓発活動に関する資料の確認